

阿南安芸自動車道 な は り あ き 奈半利～安芸  
第2回 説明資料

平成30年1月24日

国土交通省 四国地方整備局

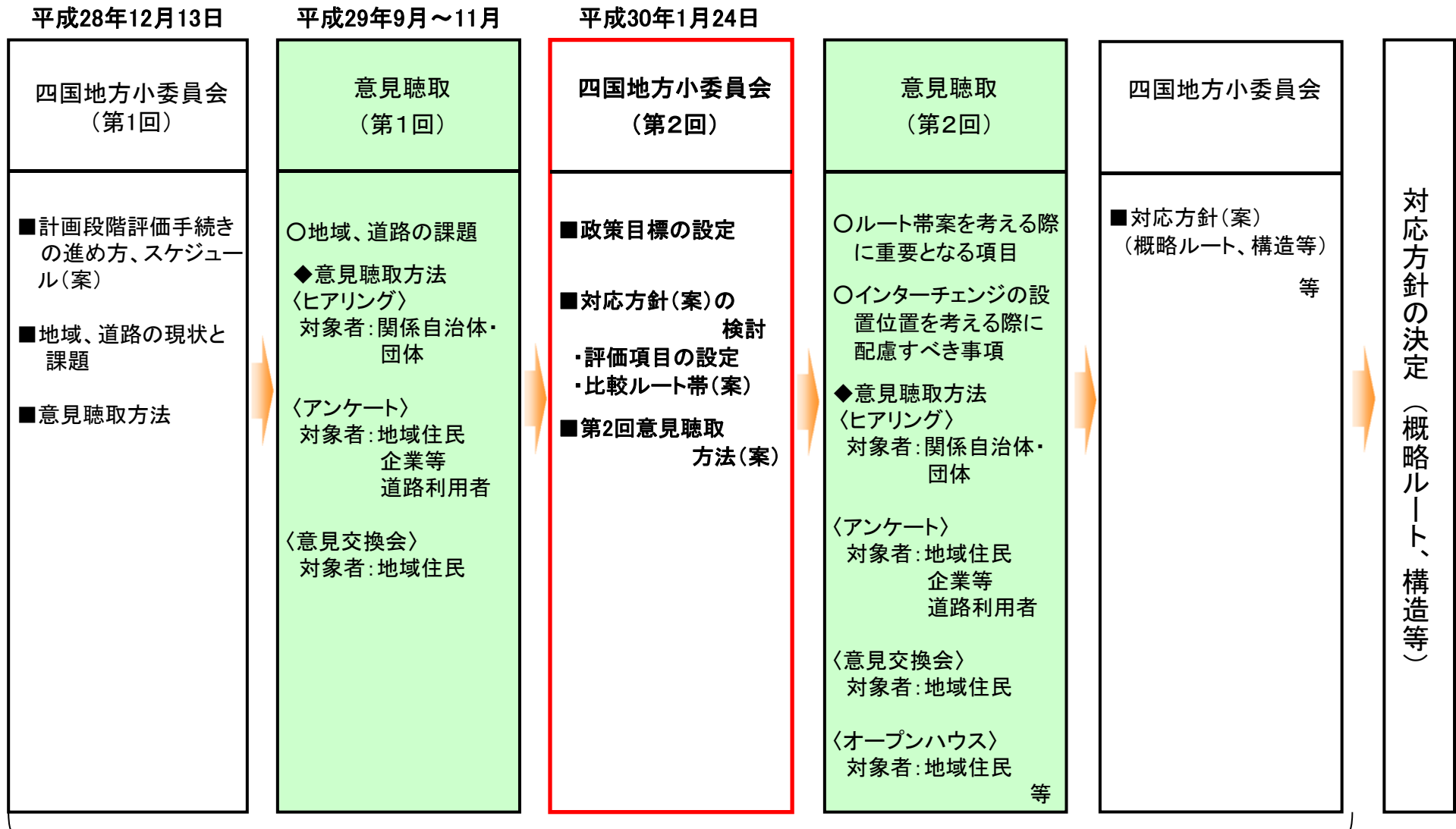
## 目次

1. 計画段階評の進め方・スケジュール(案)	・・・	2
2. 前回の審議内容	・・・	4
3. 政策目標の設定	・・・	7
4. 第1回意見徴取の結果	・・・	9
5. 対応方針(案)の検討	・・・	26
6. 第2回意見聴取方法(案)	・・・	36

## 1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

# 1. 計画段階評価の進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

## 2. 前回の審議内容

### 第1回四国地方小委員会の概要

■実施日

平成28年12月13日(火)

■主な議題

①地域や道路の現状と課題

②意見聴取方法(案)

### 第1回四国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・自治体への意見聴取にあたっては、地域の避難計画との連携の観点からも意見を聴取する方法を検討いただきたい。	・自治体へのヒアリング時に、防災計画と関連付けた道路の必要性をヒアリング。
・WEB活用等で当該地域以外の幅広い意見の聴取方法を検討していただきたい。	・四国地整・土佐国道事務所・高知県のHPにてWEBアンケート実施。 ・QRコードを用いてインターネット回答可能であることを、Facebook、Twitter、新聞広告、道の駅へのポスター掲載により広く広報。 ・広域的な移動を見据えて、大手旅行代理店、アンテナショップへヒアリングを実施。
・若い世代の定住を促進する上での要件を自治体から意見聴取し、沿線自治体の発展と連携した道路整備を進めていただきたい。	・自治体へのヒアリング時に、定住化促進への取組を含めてヒアリング。 ・地域の移住者にヒアリングを行い、地域や道路の課題を把握。
・地域住民との合意形成を促進するために、例えば、地域住民が参加するグループミーティングを活用した意見聴取を検討されたい。	・住民参加型のグループミーティングを活用した意見交換会を開催。

## 2. 前回の審議内容(地域課題の整理)

### 防災

- ・南海トラフ地震により、奈半利町、田野町、安田町、安芸市では6割～7割以上の建物が全壊・消失し、全人口の約1割が死傷
- ・国道55号の奈半利～安芸間では約8割が浸水
- ・過去より豪雨による通行規制が発生しているが、代替路が存在しない

### 観光振興

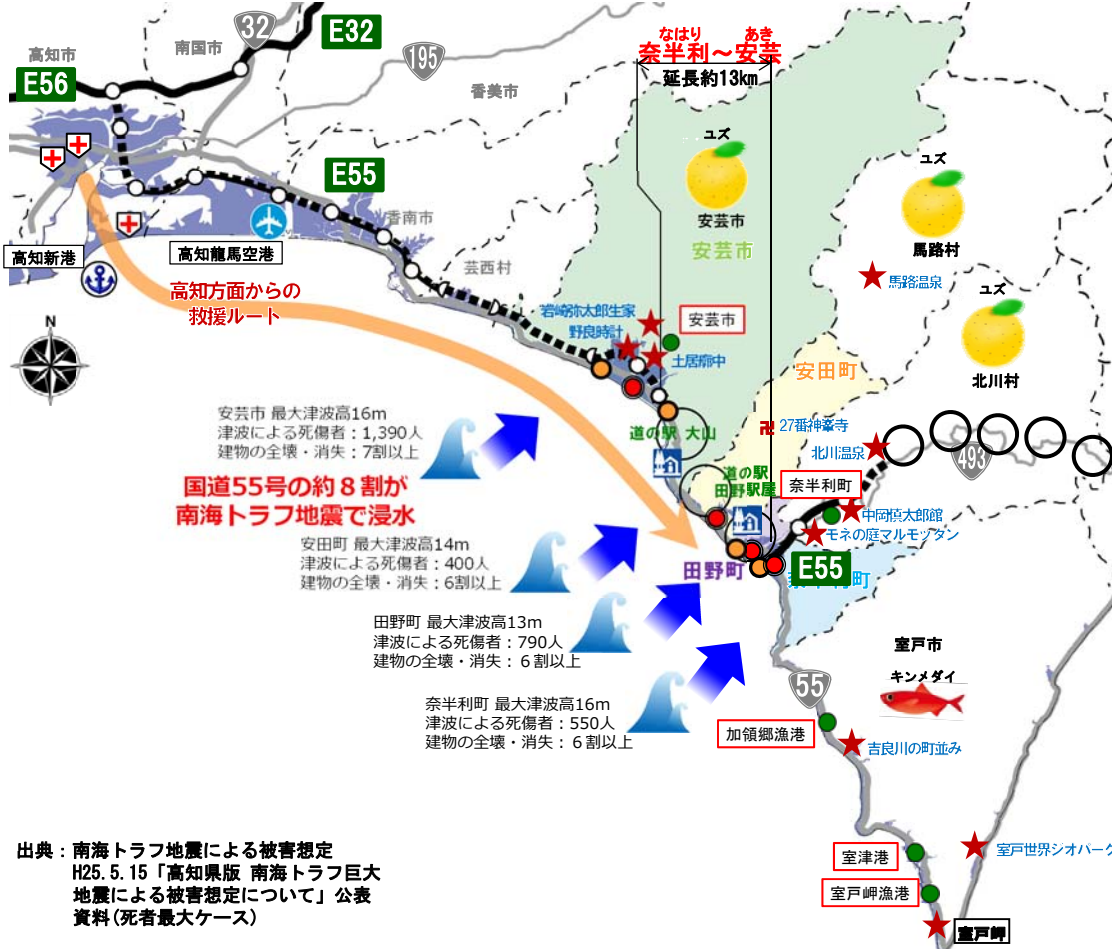
- ・高知新港への外国船寄港数は増加しているが、高速道路整備が遅れている高知県東部地域は観光客を取り込めていない
- ・高知県東部地域の観光客数は、高知県全体に比べて悪い(平成20年から1割減少)

### 地域産業の育成・強化

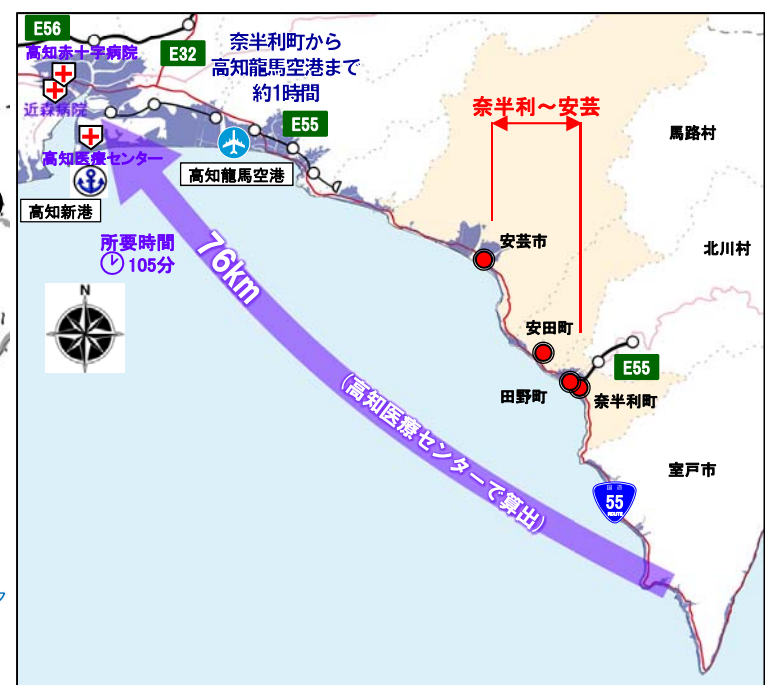
- ・当該地域の主要産業である農業では、高規格道路が整備されていないため、全国シェアが伸び悩んでいる。また、価値の高い青果での出荷割合が低迷
- ・室戸市はキンメダイの有数の産地であるが、高規格道路が整備されていないため、全国シェアが低迷

### 安全安心

- ・高知県東部地域では人口の約4割が第三次救急医療機関まで1時間以上を要する
- ・高知東部地域では救急指定病院が不足しているため管外搬送が年々増加傾向
- ・片側1車線の道路のため正面衝突事故の割合が高く、渋滞が発生し救急搬送等に影響



凡 例	
■■■■■	： 事業中区間
○○○	： 調査区間
———	： 高速道路等
———	： 直轄国道
———	： 補助国道
■	： 津波浸水予測域
●	： 市役所・役場
+	： 第三次救急医療機関
✈	： 空港
⚓	： 重要港湾
○	： 防災拠点
★	： 主要観光施設
●	： 特産品の主な産地



出典：南海トラフ地震による被害想定  
H25.5.15「高知県版 南海トラフ巨大地震による被害想定について」公表  
資料(死者最大ケース)

### 3. 政策目標の設定



### 3. 政策目標の設定

○地域の課題や沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の将来を見据えた改善すべき地域課題(政策目標)を以下に設定

	防災	観光振興	地域産業の育成・強化	安全安心
地域課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・南海トラフ地震により、奈半利町、田野町、安田町、安芸市では6割～7割以上の建物が全壊・消失し、全人口の約1割が死傷</li><li>・国道55号の奈半利～安芸間では約8割が浸水</li><li>・過去より豪雨による通行規制が発生しているが、代替路が存在しない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高知新港への外国船寄港数は増加しているが、高速道路整備が遅れている高知県東部地域は観光客を取り込めていない</li><li>・高知県東部地域の観光客数は、高知県全体に比べて悪い(平成20年から1割減少)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・当該地域の主要産業である農業では、高規格道路が整備されていないため、全国シェアが伸び悩んでいる。また、価値の高い青果での出荷割合が低迷</li><li>・室戸市はキンメダイの有数の産地であるが、高規格道路が整備されていないため、全国シェアが低迷</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高知県東部地域では人口の約4割が第三次救急医療機関まで1時間以上を要する</li><li>・高知東部地域では救急指定病院が不足しているため管外搬送が年々増加傾向</li><li>・片側1車線の道路のため正面衝突事故の割合が高く、渋滞が発生し救急搬送等に影響</li></ul>

政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保	②地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	③速達性・走行性の向上により産業振興を支援	④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現  走行性向上による交通事故の減少
------	------------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------------------------------

○政策目標を達成するために考慮する評価項目

<b>【防災】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・国道55号の代替機能</li><li>・地域の防災拠点への円滑な連絡の確保</li><li>・避難路と連携した一時的な避難場所としての活用</li></ul>	<b>【観光振興の支援】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)</li></ul>	<b>【地域産業の育成・強化】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・市場までの輸送時間短縮、商品の品質の確保(急カーブや信号交差点の影響)</li></ul>	<b>【安全安心】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減</li><li>・走行性向上による交通事故の減少</li></ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

当該地域の地域高規格道路の対応方針を検討

## 4. 第1回意見聴取の結果

## 4. 第1回意見聴取の結果(意見聴取の実施概要)

10

○意見聴取は、アンケート調査、ヒアリング調査及び意見交換会を以下のとおり実施した。

	対象者	実施期間	回収方法	実施概要	回答状況
アンケート調査	地域住民	平成29年 9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収	奈半利町、田野町、安田町、安芸市の全世帯に配布 (11,412世帯)	回答数:2,697票 (回収率:23.6%)
	企業等	平成29年 9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収	奈半利町、田野町、安田町、安芸市の全事業所に配布 (1,507事業所)	回答数:487票 (回収率:32.3%)
	道路利用者	平成29年 9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収 ヒアリング時回収	海の駅東洋町、道の駅キラメッセ室戸、道の駅田野駅屋、道の駅大山、道の駅やすで配布	回答数:1,304票 郵送 :98票 ヒアリング時:1,206票
	道路利用者 (WEB)	平成29年 9月15日(金) ～10月5日(木)	WEB上で回収	四国地方整備局、土佐国道事務所及び高知県のHP上にアンケートを掲載	回答数:84票
ヒアリング調査	自治体及び 団体代表者	平成29年 9月15日(金) ～10月 5日(木)	インタビュー 形式での ヒアリング	【自治体】 高知県、奈半利町、田野町、安田町、安芸市、及び徳島県、東洋町、北川村、室戸市、馬路村、芸西村、香南市、南国市、高知市、阿南市、美波町、牟岐町、海陽町 【各団体等】 商工会議所、商工会、消防署、警察署、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係、県・市町村から地域代表として推薦いただいた地域の活動団体 【移住者】 転入支援団体及び紹介していただいた移住者 【県外】 大手旅行代理店、アンテナショップ、県外事務所	【自治体】 18自治体 【各団体等】 32団体 【移住者】 4人
	道路利用者	平成29年 9月30日(土) 平成29年10月 1日(日)		【道の駅の利用者】 海の駅東洋町、道の駅キラメッセ室戸、道の駅田野駅屋、道の駅大山、道の駅やすで	1,206人
意見交換会	地域住民	平成29年 9月28日(木)	グループ ミーティング	奈半利町の住民の方	参加者:57人
		平成29年 9月27日(水)		田野町の住民の方	参加者:22人
		平成29年11月15日(水)		安田町の住民の方	参加者:28人
		平成29年11月 8日(水) 平成29年11月16日(木)		安芸市の住民の方	参加者:33人 伊尾木地区:16人 下山地区:17人

# 4. 第1回意見聴取の結果(アンケートの広報状況)

○新聞広告、ポスター、ホームページ、Facebook、Twitterにより、アンケートの広報を実施した。

## ▼新聞広告によるアンケート調査の周知

○高知新聞(平成29年9月26日(金))

**阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間 における道路計画に関する 第1回アンケート調査**

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

**アンケートの内容**  
地域や国道55号(奈半利～安芸間)の課題、道路に求められる役割について

**アンケート対象者・実施方法**

アンケート対象者	実施方法
沿線住民の方	・作業所、駅や路上り駅 安芸市、田野町、安芸市、安芸市(全事業所)
沿線の事業所	・駅前2地区 安芸市、田野町、安芸市、安芸市(全事業所に案内)
その他の地域にお住まいの道路利用者	・新聞の広告、観光施設にてアンケート用紙を配布 ・インターネット(QRコード)アンケート

**アンケート期間** 平成29年 9月15日(金)～10月5日(木)

インターネットによる調査 (QRコード) アンケートのお問い合わせ先

土佐国道事務所 | 調査課 | #9910  
http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/ | 088-885-4830

## ▼ホームページへのアンケートバナーの掲載

○土佐国道事務所

土佐国道事務所 | tosakoku | 国土交通省 四国地方整備局

**第1回 阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)に関するアンケート** 実施期間 平成29年 10月5日(木)まで

ご協力をお願いします

## ▼ポスター掲示によるアンケート調査の周知

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における道路計画に関する第1回アンケート調査

**アンケートを実施しています。**  
みなさまのご意見 お待ちしております。

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

**アンケートの内容**  
地域や国道55号(奈半利～安芸間)の課題、道路に求められる役割について

**アンケート対象者・実施方法**

アンケート対象者	実施方法
沿線住民の方	・作業所、駅や路上り駅 安芸市、田野町、安芸市、安芸市(全事業所)
沿線の事業所	・駅前2地区 安芸市、田野町、安芸市、安芸市(全事業所に案内)
その他の地域にお住まいの道路利用者	・新聞の広告、観光施設にてアンケート用紙を配布 ・インターネット(QRコード)アンケート

**アンケート期間** 平成29年 9月15日(金)～10月5日(木)

インターネットによる調査 (QRコード) アンケートのお問い合わせ先

土佐国道事務所 | 調査課 | #9910  
http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/ | 088-885-4830



## ▼Facebook・Twitterによるアンケート調査の周知

○四国地方整備局道路部 Facebook ○高知県広報広聴課 Twitter

国土交通省 四国地方整備局 道路部

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画について、皆さまのご意見を募集させていただきます。～第1回アンケート～

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における道路計画に関する第1回アンケート調査

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における道路計画に関する第1回アンケート調査

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における道路計画に関する第1回アンケート調査

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお聞かせいただき、道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。



## 4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリングの実施状況)

○自治体や各団体及び道路利用者、移住者へインタビュー形式でのヒアリングを実施した。

### ▼自治体・各団体へのヒアリング状況

○安芸市観光協会  
平成29年10月2日(月)



○安田社会福祉協議会  
平成29年9月29日(金)



○田野病院  
平成29年9月27日(水)



○安田社会福祉協議会  
平成29年9月29日(金)



### ▼道路利用者へのヒアリング状況

○海の駅東洋町  
平成29年9月30日(土)



○道の駅キラメッセ室戸  
平成29年9月30日(土)



○道の駅田野駅屋  
平成29年10月1日(日)



○道の駅大山  
平成29年10月1日(日)



## 4. 第1回意見聴取の結果(意見交換会の開催状況)

- 意見聴取の実施にあたり、地域住民の方などを対象として、奈半利～安芸間の「地域の課題」や「求められる道路の役割」について話し合う意見交換会を開催した。
- 意見交換会の開催にあたっては、案内チラシの配布等により地域住民などへの周知を図った。

### ▼意見交換会の開催概要

地域	開催場所	開催期間	開催時間	参加者数
奈半利町	奈半利町保健福祉センター	9月28日(木)	18:30～20:30	57名
田野町	田野町役場	9月27日(水)	18:30～19:30	22名
安田町	安田町役場	11月15日(水)	13:30～14:30	28名
安芸市	下山小学校	11月16日(木)	10:00～10:30	17名
	伊尾木公民館	11月8日(水)	19:00～19:30	16名
				合計 140名

### ▼意見交換会の周知

### ▼意見交換会開催状況

○奈半利町意見交換会  
平成29年9月28日(木)



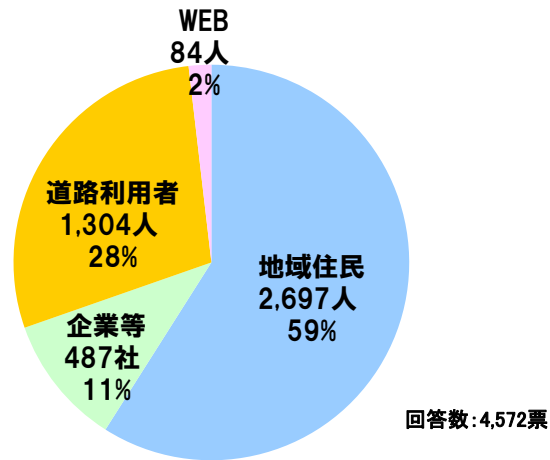
○田野町意見交換会  
平成29年9月27日(水)



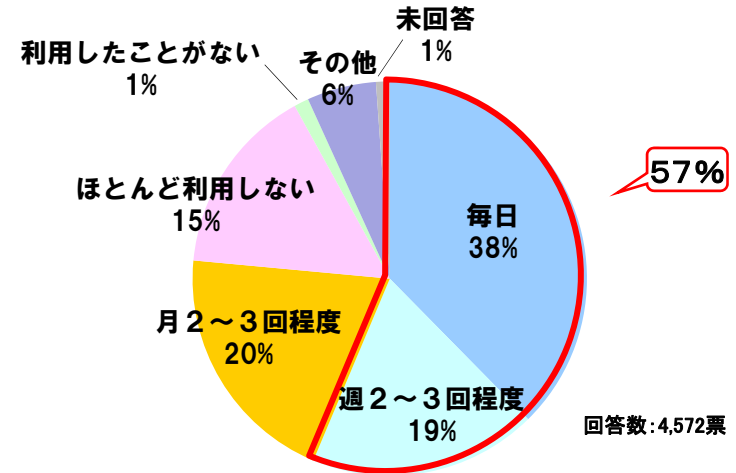
## 4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:回答者の属性)

- 地域住民2,697人、企業等487社、道路利用者1,304人、WEB84人から回答をいただいた。
- 回答者の約7割が、対象地域である奈半利町、田野町、安田町、安芸市に居住(企業は所在地)。
- 回答者の約6割が、国道55号 奈半利～安芸間を「週2～3回程度以上利用」と回答。
- 利用目的は、「仕事と通勤」が約3割、「家事・買い物」が約4割、「観光・レジャー」が約2割と多様な状況。

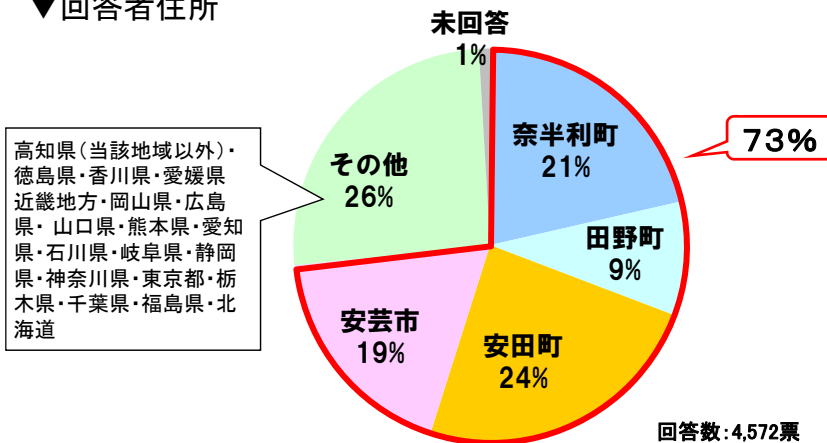
▼アンケート回収結果



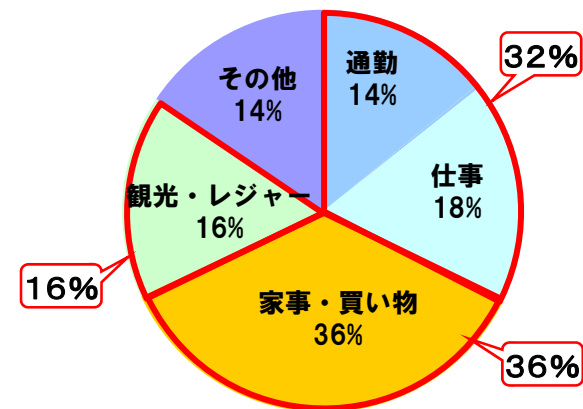
▼国道55号 奈半利～安芸間の利用頻度



▼回答者住所



▼利用目的



※ 利用目的は住民用・道路利用者・WEBアンケート回答者を対象とし、「利用したことがない」と回答された方以外を対象とする



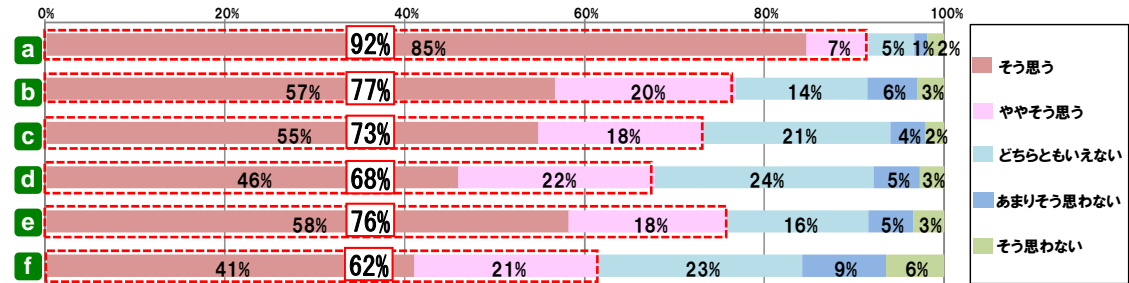
# 4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:地域の課題)

(1) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)の課題について

- すべての項目について、回答者の6割以上が課題とされている。
- 特に、「**a** 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される」を大きな課題とされている。

問1:人口が減少し、高齢化も進展している奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域における課題には、どのようなものがありますか？

- a** 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される
- b** 台風・豪雨に弱い
- c** 水産業・農業など地域産業が伸び悩んでいる
- d** 豊富な観光資源を有効活用できていない
- e** 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある
- f** 幹線道路である国道55号は線形が悪く事故が多い



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。

回答数: 4,572票

＜地域で困っていること、改善してほしいことなどについての自由意見 (475件)＞

項目	自由意見
<b>a</b> 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (53件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害時、<b>陸の孤島</b>となりそう、考えるだけで絶望的。(60代女性)</li> <li>■地震発生時に<b>避難する道が1本しかない</b>ので心配。(30代男性)</li> </ul>
<b>b</b> 台風・豪雨に弱い (25件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■田野駅付近が<b>大雨で冠水するので危険</b>(20代男性)</li> <li>■台風豪雨時の使用に<b>不安</b>を感じる事が多い(製造業)</li> </ul>
<b>c</b> 水産業・農業など地域産業が伸び悩んでいる (19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農林水産業や個人事業主での<b>後継者不足</b>、これから集落の維持の困難な地域が多い。(30代男性)</li> <li>■高速道路がなく、<b>経済の低迷、地域の衰退が進み</b> 東部地域が取り残されている。(40代女性)</li> </ul>
<b>d</b> 豊富な観光資源を有効活用できていない (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安芸市～奈半利町～東洋町と<b>東部地域の交流が必要</b>。(60代男性)</li> <li>■<b>交通の便が悪く</b>、観光客の足が向きにくい。(20代男性)</li> </ul>
<b>e</b> 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある (19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東部に総合病院が無く救急車で行くに<b>時間がかかる</b>(60代男性)</li> <li>■子供が産みにくい地域だと思う。老人も住みにくい。<b>弱者には居住しにくい</b>と思う。(70代男性)</li> </ul>
<b>f</b> 幹線道路である国道55号は線形が悪く事故が多い (34件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■R55は<b>線形が悪く</b>、また道幅も十分でない。(50代男性)</li> <li>■高知市内まで遠くて、道がクネクネしていて、<b>運転がしにくい</b>です。(60代女性)</li> </ul>
その他 (311件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■通勤に車を使っていますが、高知市あたりまで、行くのに<b>時間がかかりすぎる</b>(50代男性)</li> <li>■1本しかないと言う事はいざという時だけでなく<b>日常生活で不便で時間のロスが多い</b>のです。(50代女性)</li> </ul>



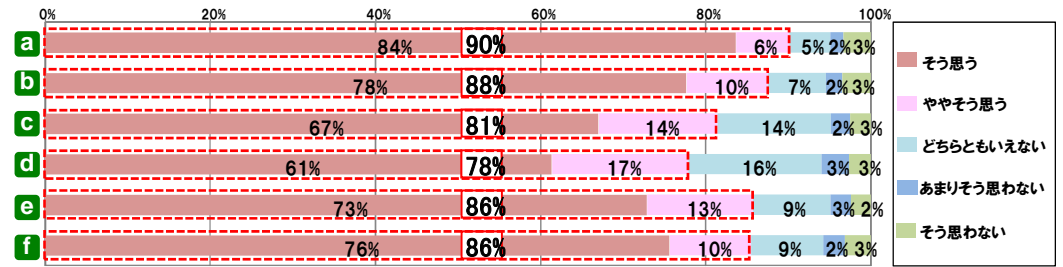
# 4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:道路の役割)

(2) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)に求められる道路の役割について

- すべての役割について、回答者の8割以上が必要とされている。
- 特に、「**a** 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路」についての役割を強く必要とされている。

問2:奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域に必要な道路はどのような道路だと思いますか？

- a** 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路
- b** 台風・豪雨時にも使用できる道路
- c** 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路
- d** 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路
- e** 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路
- f** 事故が少なく安心して走れる道路



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。 回答数:4,572票

<道路に期待していることなどについての自由意見 (504件)>

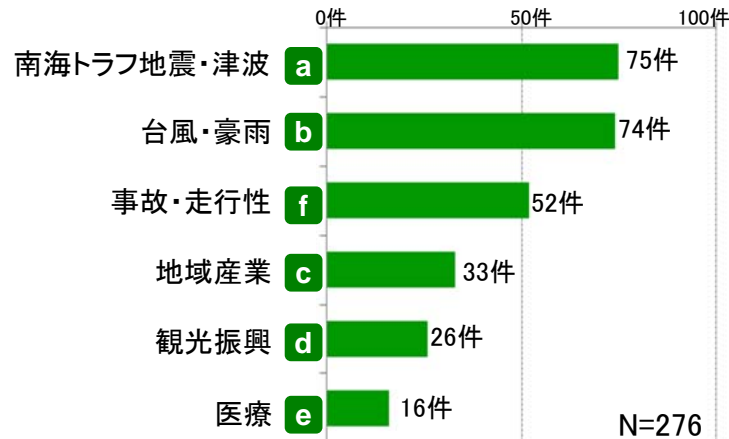
項目	自由意見
<b>a</b> 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路 (63件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害時に孤立する事のない、<b>安心・安全な道路</b>。(60代女性)</li> <li>■災害が発生すれば迂回路が無く孤立化するので高台へ<b>バイパスを作って欲しい</b>です(サービス業)</li> <li>■より高い位置に道路があれば津波の被害が、少しでも少なくなり、<b>物資等も運べる</b>と思います。(教師)</li> </ul>
<b>b</b> 台風・豪雨時にも使用できる道路 (28件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風等でも国道が通行止めになり孤立するため、<b>安心して通行可能な代替路が必要</b>。(50代女性)</li> <li>■台風等に強い道路整備が急務。国道が通行止めになると、急病等になった時に不安である。(70代女性)</li> </ul>
<b>c</b> 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 (23件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域特産品等の<b>輸送が消費地までの時間を短縮</b>でき、自動車専用道路ができれば目的地までの時間を計画的に進め効率的になります。(60代男性)</li> </ul>
<b>d</b> 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路 (20件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>県東部へのアクセス</b>が良ければ、観光客の流入も見込める。(40代男性)</li> <li>■海沿いを長距離走るルートであるにもかかわらず、堤防が高く、眺望が悪い。少し高くすれば、東洋町～室戸～安芸と、長距離の<b>観光用ビューポイントができる</b>と思われる。(20代男性)</li> </ul>
<b>e</b> 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (22件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害時にも使用できて、<b>病院に早く行ける道路</b>。(60代男性)</li> <li>■小さな子供がいると、大きな病院まで時間がかかることに不安を感じる。<b>アクセス改善が必要</b>。(30代女性)</li> </ul>
<b>f</b> 事故が少なく安心して走れる道路 (42件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>直線道路でスムーズに車に乗りたい</b>。(70代女性)</li> </ul>
その他 (306件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>仕事通勤範囲の拡大、通勤時間の短縮</b>。(50代男性)</li> </ul>

# 4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:国道55号に関する自由意見)

(3) 国道55号 奈半利～安芸間について、あなた自身が日頃から感じる事などについて

- 自由意見においても「南海トラフ地震・津波」「台風・豪雨」に対するご意見を多数頂いた。
- その他の意見として、「早期整備」を期待するご意見を多数頂いた。

<問1、問2の a～f と同一項目の意見>



<その他の意見>



項目	自由意見
a 南海トラフ地震・津波 (75件)	■災害発生時に唯一の国道が被災すれば救命・救助活動に支障をきたす。(50代男性)
b 台風・豪雨 (74件)	■台風・豪雨時の使用に不安を感じる事が多い。(製造業)
c 地域産業 (33件)	■特産品を大都市圏に届ける最短ルートを作れば高知県のブランド向上が期待できる。(20代男性)
d 観光 (26件)	■交通の便が悪く、観光客の足が向きにくい。(20代男性)
e 医療 (16件)	■通勤時間帯は渋滞がひどいので、緊急車両の通行が困難である。(40代男性)
f 事故・走行性 (52件)	■事故等により通行止めや渋滞で通勤に困ることが多い。(40代女性)
早期整備の要望 (171件)	■災害はいつ発生するか分からない。スピード感をもって整備を進めてほしい。(60代女性)
既存道路への要望 (155件)	■舗装面へ凹凸が非常に多い。(60代女性)
速達性改善 (113件)	■通勤ラッシュ時の混雑が毎日あり大変時間がかかる。(20代女性)
迂回路の整備 (106件)	■迂回道路が無いので、災害・事故等の場合の道路を建設してほしい。(60代男性)
車線数等の要望 (97件)	■追越し可能な車線を増やしてほしい。(30代男性)
高速道路・自専道の要望 (95件)	■災害に強い、地域振興に役立つ高規格道路の実現を願う。(60代男性)
IC設置要望 (46件)	■地域の経済発展のため、IC配置が必要。(60代男性)
歩道等の整備 (33件)	■歩行者用道路が狭い。(飲食業)

## 4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:地域の課題)

(1) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)や国道55号 奈半利～安芸間の課題について

○「地震・津波」、「地域産業」、「台風・豪雨」、「観光」、「医療」、「事故」等の課題を訴える声が多く寄せられた。

項目	意見
<b>a</b> 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (20団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安芸市～室戸市の社会福祉協議会の合同会議で南海トラフが<b>不安と常々協議している</b>。(奈半利町社会福祉協議会)</li> <li>■南海トラフ時に津波で道路が通れなくなり、<b>孤立化</b>する。(安芸商工会議所)</li> <li>■南海トラフ地震により、<b>国道55号が使えなくなる</b>。(中芸地区商工会)</li> <li>■国道が海岸線を通っているため、<b>南海トラフ地震の津波が不安</b>である。(高知東部森林組合)</li> </ul>
<b>c</b> 水産業、農業など地域産業が伸び悩んでいる (18団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人口が減少しており、<b>人手不足</b>である。職員募集に苦労している。(JA土佐あき室戸支所)</li> <li>■都市部では朝どれ野菜が売りになるが、<b>高知産は翌日着になるので朝どれを売りにできない</b>。(高知県大阪事務所)</li> <li>■特産品はたくさんあるが、<b>道路がないため売り込みもできない</b>。(土佐はちきん)</li> <li>■輸送によりに<b>荷痛みが発生し商品価値が低下</b>することがある。(JA馬路村)</li> </ul>
<b>b</b> 台風・豪雨に弱い (16団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風や豪雨により<b>国道55号が通行できず</b>、医療機関に到達できない。(室戸消防署)</li> <li>■台風が来ると室戸から高知市内に<b>帰れなくなる</b>。(安芸市観光協議会)</li> <li>■迂回路がなく土砂災害などが発生する地域は<b>日々生活に困っている</b>。(馬路村)</li> <li>■台風や豪雨によって<b>通行規制や冠水</b>が起きる。(JA土佐あき)</li> </ul>
<b>d</b> 豊富な観光資源を有効活用できていない (14団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高知新港からのバスツアーにバスを提供しているが、東部へはアクセスが悪く、<b>ツアーが組めない</b>。(高知東部交通)</li> <li>■日々渋滞しており、一度来てくれた<b>観光客がリピーターになってくれない</b>。(奈半利町)</li> <li>■高速道路も公共交通もなく、<b>移動時間が読みづらいため観光ツアーが組みにくい</b>。(高知県名古屋事務所)</li> <li>■東部地域は高速道路がないため、<b>旅行者が足を延ばそうと思わない</b>と話をきく。(東京アンテナショップ)</li> </ul>
<b>e</b> 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある (11団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国道55号が片側1車線しかなく、渋滞発生時は救急搬送・消防活動のため<b>スムーズな移動ができない</b>。(安芸消防署)</li> <li>■救急要請後から搬送完了まで県平均は40分であるが、室戸市は60分かかる。 また、搬送の約7割があき総合病院であるため、<b>一度出動すると、2時間半～3時間戻ってこれない</b>。(室戸消防署)</li> <li>■子供ができると<b>病院へのアクセスが不安</b>。(安田町移住者)</li> <li>■救急搬送時に亡くなられた方も多くいる。<b>道路整備で救えた命もあるのではない</b>かと思う。(芸西村)</li> </ul>
<b>f</b> 幹線道路である国道55号は線形が悪く事故が多い (10団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事故が発生すると、<b>1時間程度の規制が必要</b>になる。(安芸警察署)</li> <li>■事故渋滞により移動に<b>時間がかかる</b>。(中芸地区商工会)</li> <li>■渋滞や<b>走りにくい道路</b>のため、救急車が無事に病院についたかヒヤヒヤしている。(土佐はちきん)</li> </ul>
その他 (21団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>迂回路がなく</b>、不安を感じる(安芸郡医師会)</li> <li>■国道沿いに<b>休憩施設がない</b>。(ボランティアガイドの会)</li> </ul>

## 4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:道路の役割)

(2) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)に求められる道路の役割について

○「地震・津波」、「地域産業」、「観光」、「医療」、「台風・豪雨」、「事故」等の課題解消に寄与できる道路を必要とする声が多く寄せられた。

項目	意見
<p><b>a</b> 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路 (33団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害に強く救援に向かう道路が必要。<b>避難所や避難路と連携した道路整備が必要</b>。(安芸消防署)</li> <li>■ 新しい道は海岸段丘の上を通過させ<b>津波の影響を受けない道</b>にしてほしい。(ボランティアガイドの会)</li> <li>■ <b>南海トラフ時に利用可能</b>で、津波から避難場所となる道路がほしい。(安田町社会福祉協議会)</li> <li>■ 周辺の病院は津波で全滅する可能性がある。<b>被災時に高知市内の病院へアクセスできる強い道</b>が必要。(田野町移住者)</li> </ul>
<p><b>c</b> 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 (28団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 首都圏、関西圏への<b>輸送時間短縮、輸送に必要な時間が読める</b>、災害時でも農作物の輸送が可能な、災害に強い道路が必要。(JA土佐あき田野支所)</li> <li>■ 都市部までの<b>所要時間を短縮できる道路</b>。鮮度が向上することで商品価値向上が期待できる。(JF室戸総括支所)</li> <li>■ ネットワークが繋がれば、空港まで30分圏域となり<b>移動や輸送面でかなりの効果</b>が期待できる。(安田町)</li> <li>■ <b>高知市内との所要時間を短縮</b>する道路。人材確保や顧客獲得の効果が期待できる。(ゆず王国)</li> <li>■ 農作物に<b>荷痛みが発生しない走行性の高い道路</b>が必要。(JA馬路村)</li> </ul>
<p><b>d</b> 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路 (24団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太平洋の景色が綺麗なので、<b>景色を楽しめる道がよい</b>。(安芸市社会福祉協議会)</li> <li>■ 時間短縮の効果も大きく、<b>周遊観光の形成や関西方面からの集客につなげていきたい</b>。(安芸市)</li> <li>■ 四国東南部でのインバウンド<b>観光客誘致の観点</b>から、道路整備による<b>アクセス性向上が重要</b>。(美波町)</li> </ul>
<p><b>e</b> 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (14団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者の負担軽減のため最短でまっすぐ走れる道路。<b>搬送時間短縮により助かる確率が上がる</b>。(高知県医師会)</li> <li>■ ブレーキ回数やカーブが少ない<b>患者への負担が少ない道路が必要</b>。(室戸消防署)</li> <li>■ 四国東南部では高度医療機関が無いので、<b>急病人搬送時の時間短縮</b>が求められる。(牟岐町)</li> </ul>
<p><b>b</b> 台風・豪雨時にも使用できる道路 (10団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>通行止めにならない</b>、渋滞しない等、職員が通勤しやすい道にしてほしい。(田野病院)</li> <li>■ 防災面上において<b>道路の複線化</b>は重要。(室戸市)</li> <li>■ 道路には<b>防災と安全安心が求められている</b>。特に、防災能力が必要である。(田野町)</li> <li>■ 迂回可能な道がないため、<b>台風等で通行止めにならない新たな道が必要</b>。(奈半利町移住者)</li> </ul>
<p><b>f</b> 事故が少なく安心して走れる道路 (6団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>高齢者も利用しやすい道路</b>が必要。(安芸警察署)</li> <li>■ 自動車と自転車・歩行者がともに<b>安全に移動できる道</b>。(JA土佐あき)</li> </ul>
<p>その他 (22団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 渋滞解消のため<b>追越車線</b>がほしい。(室戸市観光協議会)</li> <li>■ 道路整備により、市内等への<b>移動時間が短縮</b>される必要がある。移住者の増加が期待できる。(田野社会福祉協議会)</li> </ul>

## 4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:地域の将来像)

(3)当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)を「どのようなまち(地域)にしたいか」について

○「産業」「観光」「防災」「医療」等の課題を解決できる「まち」にしたいとの声が多く寄せられた。

項目	意見
産業 (19団体)	■ <b>農業を継続して発展</b> できる町。(JA土佐あき北川支所) ■ 道路整備と合わせて、 <b>新たに地域の物産を扱える施設をつくり盛り上げていきたい</b> 。(田野町)
観光 (16団体)	■ 室戸等と連携し、 <b>観光産業を盛り上げていきたい</b> 。(安芸市観光協議会) ■ 町の発展のため通過されない町づくりが必要。 <b>道の駅等の施設により観光客を呼び込みたい</b> 。(奈半利町)
防災 (5団体)	■ <b>災害に強い安心安全な町づくり</b> が必要。保育園や幼稚園は今後高台に移設予定。(田野町) ■ 庁舎の高台移転等、 <b>災害に強い町づくり</b> を行わなければならない。(安芸市)
医療 (4団体)	■ 病院へ到達するまでに <b>心配することのない医療サービスを確保</b> した地域。(安芸消防署) ■ <b>高齢者も安心して生活</b> できる町づくりが必要。(田野病院)



## 4. 第1回意見聴取の結果(意見交換会:地域の課題、道路の役割)

○奈半利町・田野町・安田町・安芸市にて、各地域住民を対象とした意見交換会を開催。合計140名の住民に参加いただいた。  
○「防災」「産業」「観光」「医療」等の地域課題に対して意見があり、課題を解消する道路が望まれている。

(1) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)や国道55号 奈半利～安芸間の課題について

項目	意見
地震・津波	・南海トラフ地震により、国道55号が被災することで <u>地域が孤立</u> する。住民全員が不安に思っている。(安芸市住民)
台風・豪雨	・海沿いを走っているため <u>台風が来ると越波等により道路</u> が通れなくなる。(奈半利町住民)
産業	・人口減少高齢化・若年層が流出が進んでいる。理由の一つとして <u>仕事がなく、通勤等にも不便なため</u> だと考えられる。(田野町住民)
観光	・ <u>観光地までの移動時間が長く</u> 、周遊観光が出来ない。(奈半利町住民)
医療	・室戸市には救急病院がない状況になっている。災害時だけでなく平時の <u>医療サービスも不足</u> している。(田野町住民)
安全な道路	・ <u>事故が起きると通行規制</u> がかかり、通勤に影響が出る。(安田町住民)

(2) 当該地域(奈半利町・田野町・安田町・安芸市地域)に求められる道路の役割について

項目	意見
地震・津波	・緊急時に他地域からの <u>早急な物資の補給が可能となるように道路整備が必要</u> 。(安田町住民)
台風・豪雨	・台風時でも高知市内にどうしても移動したい時がある。 <u>台風等で通行止めにならない道が必要</u> 。(奈半利町住民)
産業	・地震、津波を警戒し過ぎて、利便性が悪い道路ではダメ。 <u>産業振興に繋がる道路整備が必要</u> 。(安田町住民)
観光	・観光地へ少しでも <u>移動時間を短くしてほしい</u> 。(安芸市住民)
医療	・救急搬送では、1分2分の遅れが命に関わる。 <u>病院・消防署へのアクセスを考慮した道路整備</u> が必要。(安芸市住民)
安全な道路	・歩行者や自転車等と分離した <u>安全に走れる道路</u> が必要。(奈半利町住民)

▼奈半利町 意見交換会状況



▼田野町 意見交換会状況



▼安田町 意見交換会状況



▼安芸市 意見交換会状況(下山)



▼安芸市意見交換会状況(伊尾木)



地域の現状と課題	求められる道路の役割	政策目標
<p><b>①南海トラフ地震</b>  <b>【アンケート】</b>  <b>a</b> 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される <b>《92%》</b>  <b>【ヒアリング】</b>                      ■安芸市～室戸市の社会福祉協議会の合同会議で南海トラフが<b>不安と常々協議している</b>。                      ■南海トラフ時に津波で道路が通れなくなり、<b>孤立化</b>する。                      ■南海トラフ地震により、<b>国道55号が使えなくなる</b>。                      ■国道が海岸線を通っているため、<b>南海トラフ地震の津波が不安</b>である。                      ■<b>災害に強い安心安全な町づくり</b>が必要。保育園や幼稚園は今後高台に移設予定。  <b>【意見交換会】</b>                      ■南海トラフ地震により、国道55号が被災することで<b>地域が孤立</b>する。住民全員が不安に思っている。</p>	<p><b>【アンケート】</b>  <b>a</b> 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路 <b>《90%》</b>  <b>【ヒアリング】</b>                      ■災害に強く救援に向かう道路が必要。<b>避難所や避難路と連携した道路整備が必要</b>。                      ■新しい道は海岸段丘の上を通過させ<b>津波の影響を受けない道</b>にしてほしい。                      ■<b>南海トラフ時に利用可能</b>で、津波から避難場所となる道路がほしい。                      ■周辺の病院は津波で全滅する可能性がある。<b>被災時に高知市内の病院へアクセスできる新しい道</b>が必要。  <b>【意見交換会】</b>                      ■緊急時に他地域からの<b>早急な物資の補給が可能となるように道路整備が必要</b>。</p>	<p><b>①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保</b></p> <p>・代替路の確保                      ・防災拠点施設や避難路との連携</p>
<p><b>②台風・豪雨</b>  <b>【アンケート】</b>  <b>b</b> 台風・豪雨に弱い <b>《77%》</b>  <b>【ヒアリング】</b>                      ■台風や豪雨により<b>国道55号が通行できず</b>、医療機関に到達できない。                      ■台風が来ると室戸から高知市内に<b>帰れなくなる</b>。                      ■迂回路がなく土砂災害などが発生する地域は<b>日々生活に困っている</b>。                      ■台風や豪雨によって<b>通行規制や冠水</b>が起きる。                      ■庁舎の高台移転等、<b>災害に強い町づくり</b>を行わなければならない。  <b>【意見交換会】</b>                      ■海沿いを走っているため<b>台風が来ると越波等により道路が通れなくなる</b>。</p>	<p><b>【アンケート】</b>  <b>b</b> 台風・豪雨時にも使用できる道路 <b>《88%》</b>  <b>【ヒアリング】</b>                      ■<b>通行止めにならない</b>、渋滞しない等、職員が通勤しやすい道にしてほしい。                      ■防災面上において<b>道路の複線化</b>は重要。                      ■道路には<b>防災と安全安心が求められている</b>。特に、防災能力が必要である。                      ■迂回可能な道がないため、<b>台風等で通行止めにならない新たな道が必要</b>。  <b>【意見交換会】</b>                      ■台風時でも高知市内にどうしても移動したい時がある。<b>台風等で通行止めにならない道が必要</b>。</p>	

地域の現状と課題	求められる道路の役割	政策目標
<p><b>③産業</b></p> <p>【アンケート】</p> <p><b>C</b> 水産業・農業など地域産業が伸び悩んでいる。《73%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■人口が減少しており、<b>人手不足</b>である。職員募集に苦労している。</li> <li>■都市部では朝どれ野菜が売りになるが、<b>高知産は翌日着になるので朝どれを売りにできない</b>。</li> <li>■特産品をたくさんあるが、<b>道路がないため売り込みもできない</b>。</li> <li>■輸送によりに<b>荷痛みが発生し商品価値が低下</b>することがある。</li> <li>■<b>農業を継続して発展</b>できる町。</li> <li>■道路整備と合わせて、<b>新たに地域の物産を扱える施設をつくり盛り上げていきたい</b>。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■人口減少高齢化・若年層が流出が進んでいる。理由の一つとして<b>仕事がなく、通勤等にも不便なため</b>だと考えられる。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <p><b>C</b> 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 《81%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■首都圏、関西圏への<b>輸送時間短縮、輸送に必要な時間が読める</b>、災害時でも農作物の輸送が可能な、災害に強い道路が必要。</li> <li>■都市部までの<b>所要時間を短縮できる道路</b>。鮮度が向上することで商品価値向上が期待できる。</li> <li>■ネットワークが繋がれば、空港まで30分圏域となり<b>移動や輸送面でかなりの効果</b>を期待できる。</li> <li>■<b>高知市内との所要時間を短縮</b>する道路。人材確保や顧客獲得の効果が期待できる。</li> <li>■農作物に<b>荷痛みが発生しない走行性の高い道路</b>が必要。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地震、津波を警戒し過ぎて、利便性が悪い道路ではダメ。<b>産業振興に繋がる道路整備が必要</b>。</li> </ul>	<p><b>②速達性・走行性の向上により産業振興を支援</b></p>
<p><b>④観光</b></p> <p>【アンケート】</p> <p><b>d</b> 豊富な観光資源を有効活用できていない 《68%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■高知新港からのバスツアーにバスを提供しているが、東部へはアクセスがなく、<b>ツアーが組めない</b>。</li> <li>■日々渋滞しており、一度来てくれた<b>観光客がリピーターになってくれない</b>。</li> <li>■高速道路も公共交通もなく、<b>移動時間が読みづらいため観光ツアーが組みにくい</b>。</li> <li>■東部地域は高速道路がないため、<b>旅行者が足を延ばそうと思わない</b>と話をきく。</li> <li>■室戸等と連携し、<b>観光産業を盛り上げていきたい</b>。</li> <li>■町の発展のため通過されない町づくりが必要。<b>道の駅等の施設により観光客を呼び込みたい</b>。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>観光地までの移動時間が長く</b>、周遊観光が出来ない。</li> </ul>	<p>【アンケート】</p> <p><b>d</b> 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路 《78%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■太平洋の景色が綺麗なので、<b>景色を楽しめる道がよい</b>。</li> <li>■時間短縮の効果も大きく、<b>周遊観光の形成や関西方面からの集客につなげていきたい</b>。</li> <li>■四国東南部でのインバウンド<b>観光客誘致の観点</b>から、道路整備による<b>アクセス性向上が重要</b>。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地へ少しでも<b>移動時間を短くしてほしい</b>。</li> </ul>	<p><b>③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援</b></p>

※アンケートの赤字《》書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合



地域の現状と課題	求められる道路の役割	政策目標
<p><b>⑤医療</b> 【アンケート】 <b>e</b> 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある 《76%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国道55号が片側1車線しかなく、渋滞発生時は救急搬送・消防活動のため、<u>スムーズな移動ができない</u>。</li> <li>■ 救急要請後から搬送完了まで県平均は40分であるが、室戸市は60分かかる。また、搬送の約7割があき総合病院であるため、<u>一度出動すると2時間半～3時間戻ってこれない</u>。</li> <li>■ 子供ができると<b>病院へのアクセスが不安</b>。</li> <li>■ 救急搬送時に亡くなられた方も多くいる。<u>道路整備で救えた命もあるのではない</u>かと思う。</li> <li>■ 病院へ到達するまでに<u>心配することのない医療サービスを確保</u>した地域。</li> <li>■ <u>高齢者も安心して生活</u>できる町作りが必要。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 室戸市には救急病院がない状況になっている。災害時だけではなく平時の<u>医療サービスも不足</u>している。</li> </ul>	<p>【アンケート】 <b>e</b> 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 《86%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者の負担軽減のため最短でまっすぐ走れる道路。<u>搬送時間短縮により助かる確率が上がる</u>。</li> <li>■ ブレーキ回数やカーブが少ない<u>患者への負担が少ない道路が必要</u>。</li> <li>■ 四国東南部では高度医療機関が無いため、<u>急病人搬送時の時間短縮</u>が求められる。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急搬送では、1分2分の遅れが命に関わる。<u>病院・消防署へのアクセスを考慮した道路整備</u>が必要。</li> </ul>	<p><b>④救急医療機関への速達性の向上や 安静搬送の実現 走行性向上による交通事故の減少</b></p>
<p><b>⑥交通事故</b> 【アンケート】 <b>f</b> 幹線道路である国道55号は線形が悪く事故が多い 《62%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事故が発生すると、<u>1時間程度の規制が必要</u>になる。</li> <li>■ 事故渋滞により移動に<u>時間がかかる</u>。</li> <li>■ 渋滞や<u>走りにくい道路</u>のため、救急車が無事に病院についたかヒヤヒヤしている。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>事故が起きると通行規制</u>がかかり、通勤に影響が出る。</li> </ul>	<p>【アンケート】 <b>f</b> 事故が少なく安心して走れる道路 《86%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>高齢者も利用しやすい道路</u>が必要。</li> <li>■ 自動車と自転車・歩行者がともに<u>安全に移動できる道</u>。</li> </ul> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歩行者や自転車等と分離した<u>安全に走れる道路</u>が必要。</li> </ul>	

※アンケートの赤字《 》書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合

### 【第1回意見聴取のまとめ】

第1回意見聴取で提示したアンケート・ヒアリング項目に対し、

《地域の課題》 アンケート : 地域住民の約6～9割の方が「防災面の脆弱性」、「地域産業伸び悩み」、「観光資源有効活用」、「医療サービスへの不安」、「交通事故」について課題とされている。

ヒアリング : 地震、台風・豪雨による分断・孤立、地域産業や観光客の伸び悩み、医療サービスへの不安、事故への不安を訴える意見を多く頂いた。

意見交換会 : ヒアリングと同様に、「防災」「産業」「観光」「医療」等に対して課題があるとの意見を頂いた。

⇒ 『地域の課題』が確認できた。

《道路の役割》 アンケート : 地域住民の約8～9割の方が課題を解消する道路が必要とされている。

ヒアリング : 地震に強い代替路の確保、豪雨時に通行止めにならない、産業・観光の支援、医療拠点への速達性の向上や安静搬送、走行性向上による交通事故減少を求める意見を多く頂いた。

意見交換会 : ヒアリングと同様に、「防災」「産業」「観光」「医療」等の課題を解消する道路を求める意見を頂いた。

⇒ 地域の課題を解決するための『道路整備の必要性』が確認できた。

以上より、地域の声は、第1回委員会で提示・確認いただいた『地域と道路の課題の解決を求めていること』が確認できた。

また、地域・道路の課題を解決するための『政策目標の妥当性』も確認できた。

**地域と道路の課題を解決する政策目標を設定**

## 5. 対応方針(案)の検討

# 5. 対応方針(案)の検討

- 第1回意見聴取で妥当性が確認できた「政策目標」を達成するため、対応方針(案)(ルート帯案)を検討。
- 対策方針(案)(ルート帯案)検討にあたって考慮すべき評価項目を踏まえ、複数のルート帯案を検討。

## 【政策目標】

<p>①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替案の確保</li> <li>・防災拠点施設や避難路との連携</li> </ul>	<p>②速達性・走行性の向上により産業振興を支援</p>	<p>③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援</p>	<p>④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現</p> <p>走行性向上による交通事故の減少</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------------------------

## 【ルート帯検討にあたっての評価項目】

○ルート帯の検討にあたっては、南海トラフ地震等への対応、観光振興・産業振興・医療サービスの支援・交通事故減少のための速達性・走行性に加え、自然・生活環境等の保全と調和、経済性等に配慮し検討する。

《政策目標を達成するために考慮する評価項目》		《道路整備に際し配慮する評価項目》 ※全事業対象項目	
<p>南海トラフ地震等への対応</p>	<p>速達性・走行性</p>	<p>自然環境・生活環境等の保全と調和</p>	<p>経済性等への配慮</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道55号の代替機能</li> <li>・地域の防災拠点への円滑な連絡の確保</li> <li>・避難路と連携した一時的に避難場所としての活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場までの輸送時間短縮、商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響)</li> <li>・観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)</li> <li>・医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少(急カーブや信号交差点の影響)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物への影響</li> <li>・植物への影響</li> <li>・集落などへの影響</li> <li>・大気質及び騒音等の影響</li> <li>・重要な史跡等への影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設に要する期間</li> <li>・建設に要する費用</li> </ul>

複数のルート帯を検討



- 新たにバイパスを整備する案
- 現国道55号を改良する案



# 5. 複数のルート帯案の検討(南海トラフ地震等への対応)

- 南海トラフ地震では最大震度7、最大津波高は奈半利町で16m、田野町で13m、安田町で14m、安芸市で16mが想定されている。
- 国道55号(奈半利～安芸)の約8割が津波により浸水(最大浸水深約9m)すると想定されている。
- 南海トラフ地震の被害軽減に向け、学校や奈半利港等の防災拠点施設の整備が進められており、円滑な連絡を確保する必要がある。

## ▼奈半利町、田野町、安田町、安芸市の防災拠点

### 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸





# 5. 複数のルート帯案の検討(速達性・走行性及び生活環境の保全と調和)

○海岸沿いを通過する国道55号の沿線に、市街地(集落)が形成され、市役所・役場、学校、医療機関、市場、駅などが集積しており、生活環境の保全に配慮しつつ、市街地への速達性・走行性を考慮する必要がある。

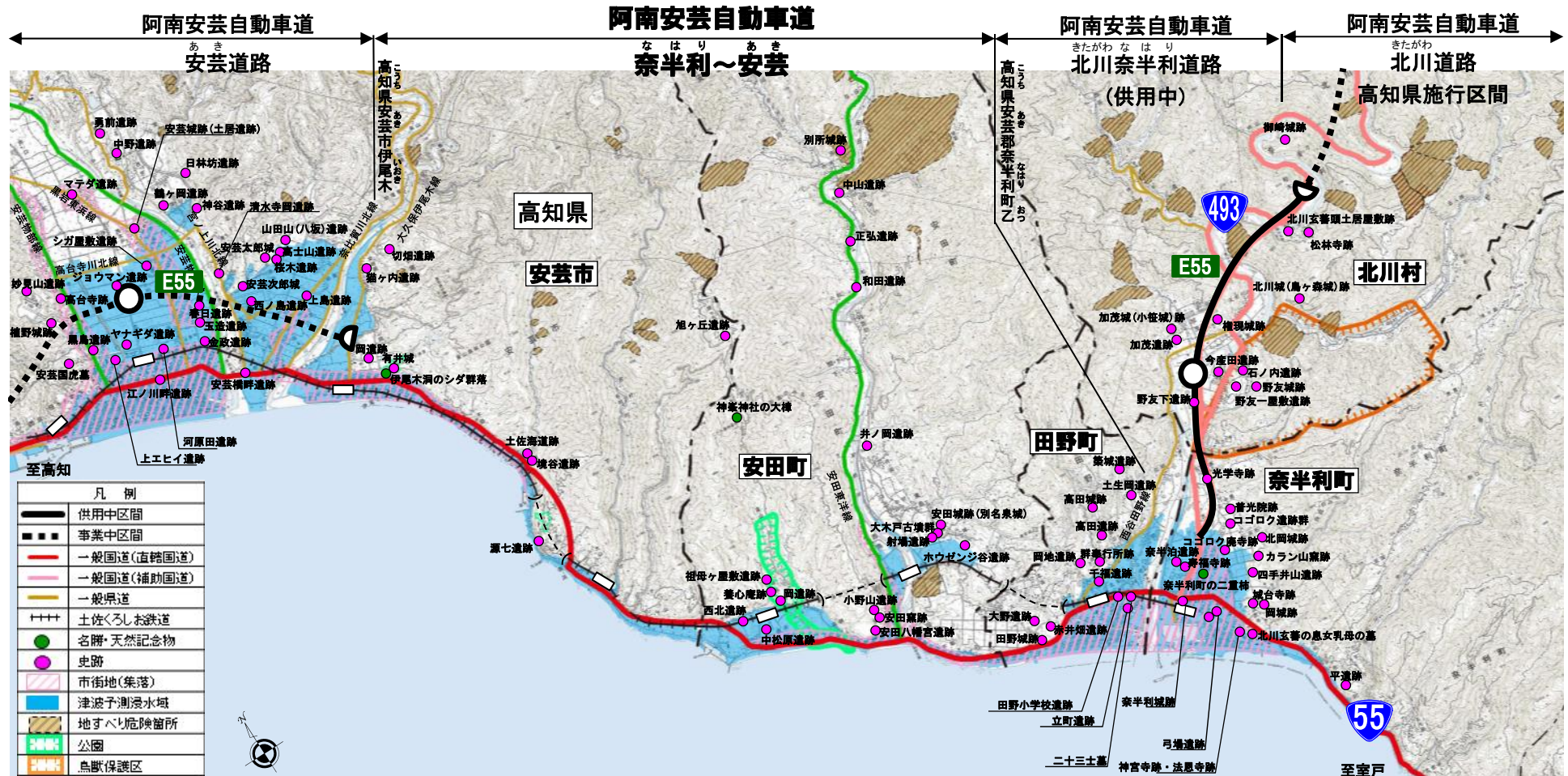


出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設



# 5. 複数のルート帯案の検討(自然環境の保全と調和)

- 魚梁瀬県立自然公園、鳥獣保護区、名勝・史跡・天然記念物などが、沿岸部や国道55号沿線に点在している。
- 重要な動植物については、詳細なルート・構造等の検討段階で配慮し検討を進める。  
(今後、詳細な調査を実施して生息域などを把握)



出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「[高知県版第2弾]南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会文化財課 高知県文化財地図情報システム



# 5. 対応方針(案)の検討【案①】

## ○案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案

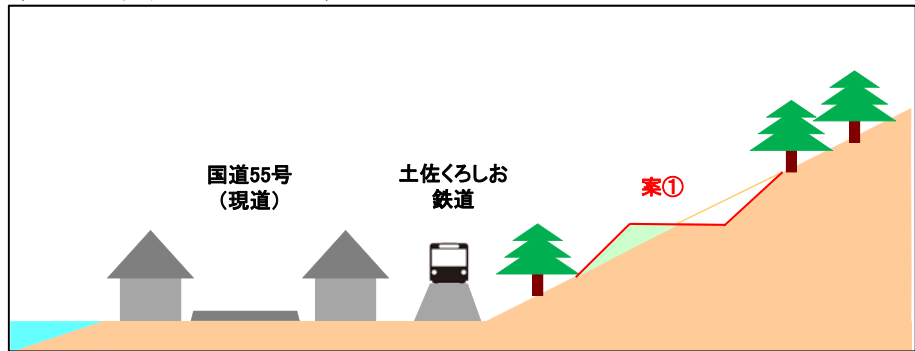


出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校（小・中・高）、消防署、警察署等公共施設

### ■整備概要

整備概要	延長 約 13 km
	速度 80 km/h 2車線 (自動車専用道路)
コスト	約 600 ~ 650 億円

### 〈A-A 付近のイメージ〉



凡例	
—	供用中区間
---	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
---	一般国道(補助国道)
—	一般県道
○	市役所・町役場(支所)
●	公共施設
●	病院
●	防災拠点
●	名勝・天然記念物
●	史跡
○	集荷場(農業協同組合)
●	集荷場(漁業協同組合)
■	市街地(集落)
■	津波予測浸水域
■	地すべり危険箇所
■	公園
■	鳥獣保護区

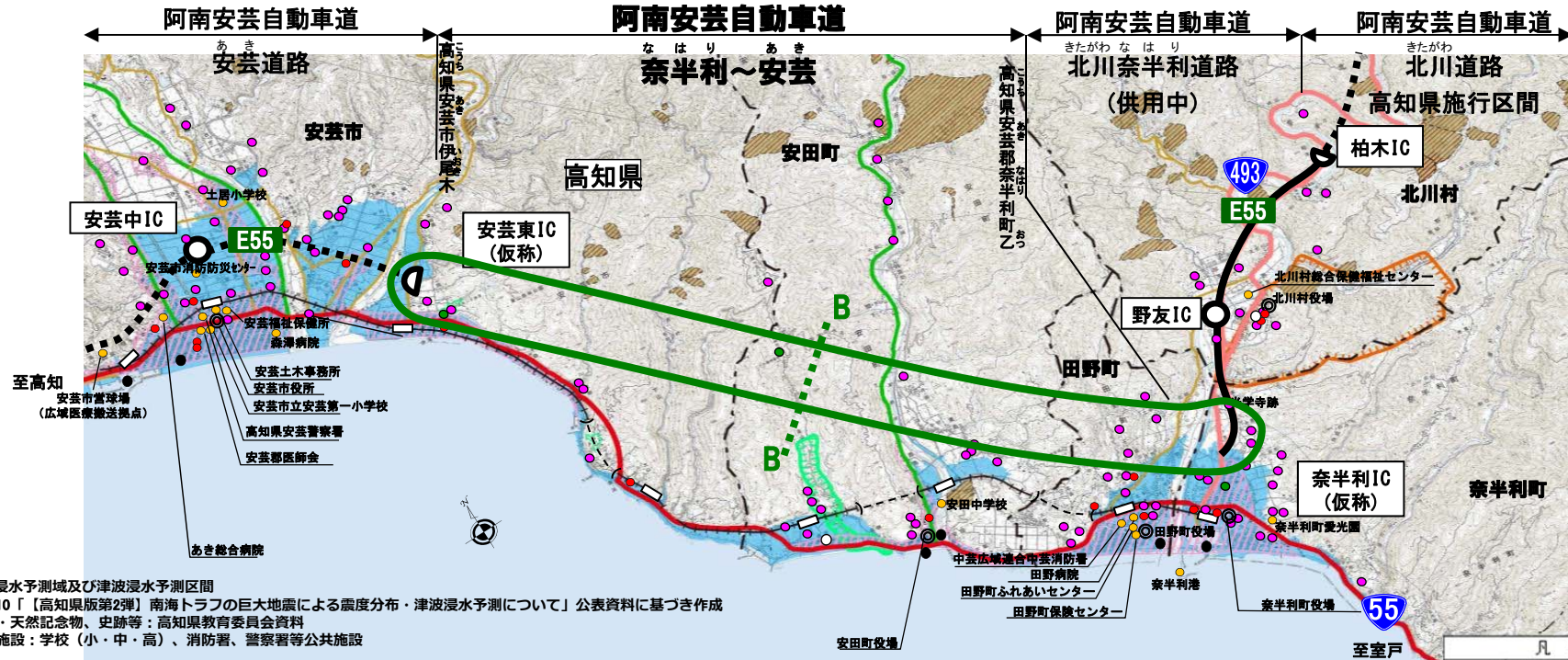
### ■ルート帯の概要

内容	・市街地(集落)の極力近くを通るルートで、コスト縮減の観点から可能な範囲で土工(切土・盛土)の構造を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。
----	------------------------------------------------------------------------



# 5. 対応方針(案)の検討【案②】

## ○案② 区間延長を極力短くしたバイパス案



出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校（小・中・高）、消防署、警察署等公共施設

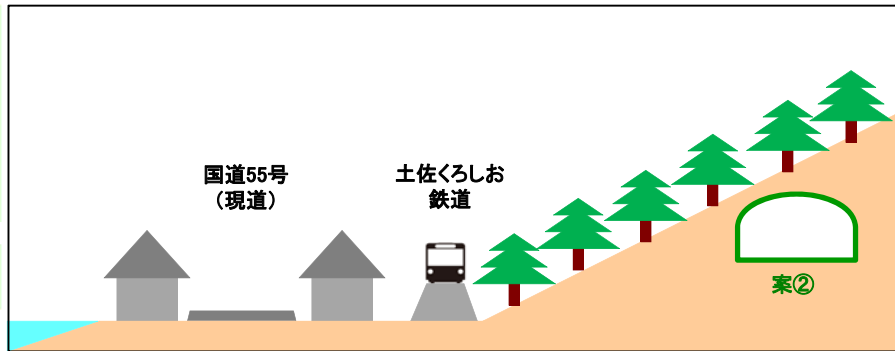
### ■整備概要

整備概要	延長 約 12 km
	速度 80 km/h
コスト	2車線
	(自動車専用道路)
コスト	約 750 ~ 800 億円

### ■ルート帯の概要

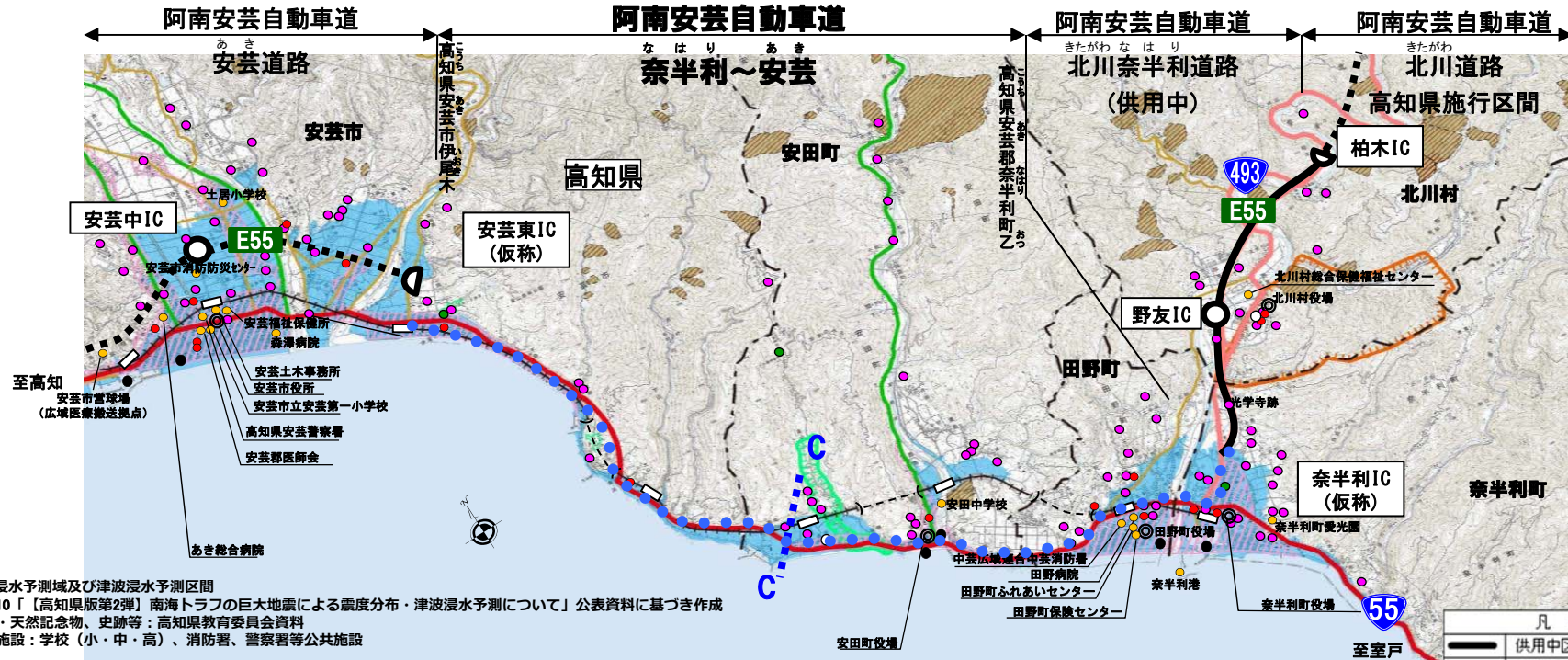
内容	・区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造等を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。
----	-----------------------------------------------

〈B-B 付近のイメージ〉



凡例	
—	供用中区間
- - -	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
—	一般国道(補助国道)
—	一般県道
○	市役所・町役場(支所)
●	公共施設
●	病院
●	防災拠点
●	名勝・天然記念物
●	史跡
○	集荷場(農業協同組合)
○	集荷場(漁業協同組合)
○	市街地(集落)
■	津波予測浸水域
■	地すべり危険箇所
■	公園
■	鳥獣保護区

## ○案③ 現道改良案

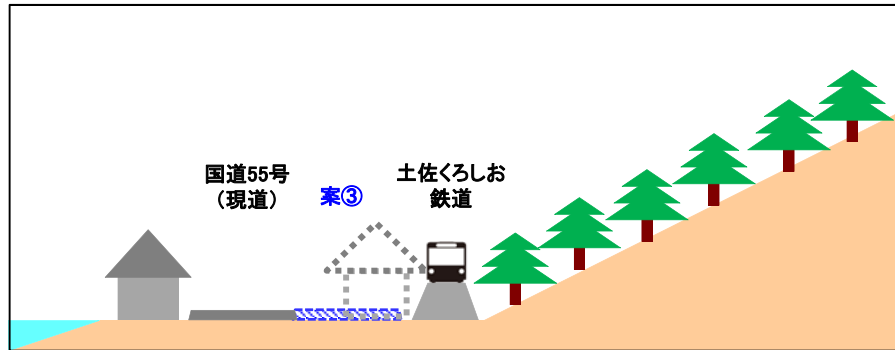


出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校（小・中・高）、消防署、警察署等公共施設

### ■整備概要

整備概要	延長 約 14 km
	速度 60 km/h
コスト	2車線
	(一般道路)
コスト	約 50 ~ 100 億円

### 〈C-C 付近のイメージ〉



凡例	
—	供用中区間
---	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
---	一般国道(補助国道)
—	一般県道
○	市役所・町役場(支所)
●	公共施設
●	病院
●	防災拠点
●	名勝・天然記念物
●	史跡
○	集荷場(農業協同組合)
●	集荷場(漁業協同組合)
○	市街地(集落)
■	津波予測浸水域
■	地すべり危険箇所
■	公園
■	鳥獣保護区

### ■ルート帯の概要

内容	・現状の国道55号の急カーブ・道路幅等を改良する。
----	---------------------------



# 5. 対応方針(案)の検討(ルート帯案の概要及び比較評価)



- 案①** 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案
- 案②** 区間延長を極力短くしたバイパス案
- 案③** 現道改良案

凡例		凡例		凡例	
	供用中区間		公共施設		津波予測浸水域
	事業中区間		病院		地すべり危険箇所
	一般国道(直轄国道)		防災拠点		公園
	一般国道(補助国道)		名勝・天然記念物		鳥獣保護区
	一般県道		史跡		集荷場(農業協同組合)
	市役所・町役場(支所)		市街地(集落)		集荷場(漁業協同組合)

名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設  
 出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成

# 5. 対応方針(案)の検討(ルート帯案の概要及び比較評価)

対策案の考え方		案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案	案③ 現道改良案 (現状の国道55号の急カーブ・道路幅等を改良する案)	
		延長 約13km 80km/hで走行できる自動車専用道路 (2車線)	延長 約12km 80km/hで走行できる自動車専用道路 (2車線)	延長 約14km 60km/hで走行できる一般道路 (2車線)	
評価項目					
政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道55号の代替機能	国道55号の代わりとして利用できる	国道55号の代わりとして利用できる	現状の国道55号を改良するため、代わりとはならない
		地域の防災拠点への円滑な連絡の確保	円滑な連絡が確保できる (案②より連絡距離は短い)	連絡が確保できる	津波浸水影響を受けるため、連絡が確保できない
		避難路と連携した一時的な避難場所としての活用	避難場所として活用できる	避難場所として一部活用できる	津波浸水影響を受けるため、避難場所として活用できない
	②速達性・走行性の向上により産業振興を支援	市場までの輸送時間短縮・商品の品質確保 (急カーブや信号交差点の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる (案②より集荷場からのアクセス性は優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる	輸送時間の短縮や商品の品質確保は、さほど見込めない
	③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加 (広域的な時間短縮 等)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮は小さく、立寄り箇所や滞在時間の増加は、さほど見込めない
④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現、走行性向上による交通事故減少の減少	医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少 (急カーブや信号交差点の影響)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる (案②より集落からのアクセス性は優れる)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少は、さほど見込めない	
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
		植物への影響	影響の可能性はある	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい
	生活環境	集落などへの影響	小さい	小さい(案①より小さい)	大きい
		大気質及び騒音等の影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい (案①より小さい)	影響の可能性はある
		重要な史跡等への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
	事業期間	建設に要する期間	長い(案②より短い)	長い	短い
経済性	建設に要する費用	約600~650億円	約750~800億円	約50~100億円	

## 6. 第2回意見聴取方法(案)



# 6. 第2回意見聴取方法(案)

## (1) 意見聴取の基本方針

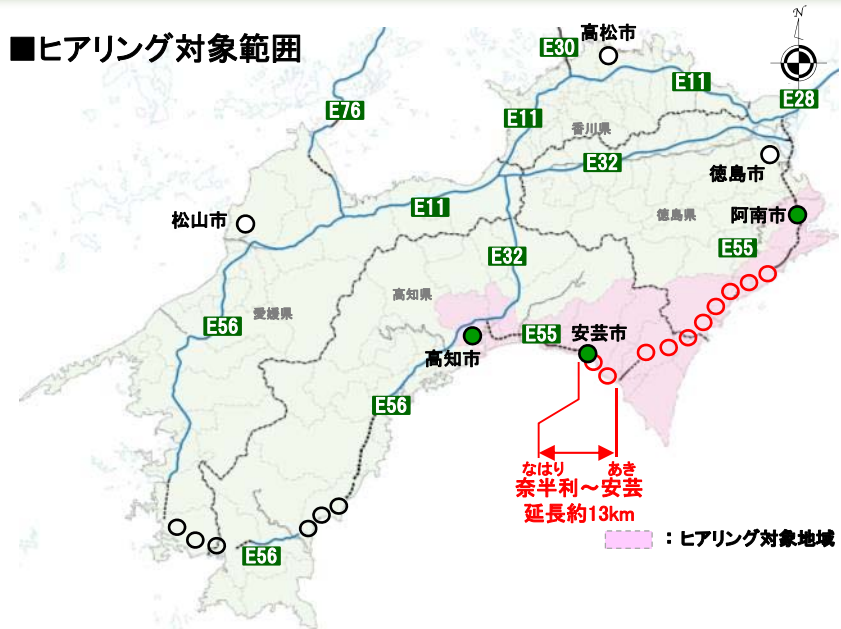
○対応方針(案)の検討のため、「ルート帯案」、「インターチェンジの設置位置」に対して意見を伺う。

## (2) 意見聴取の対象者と方法

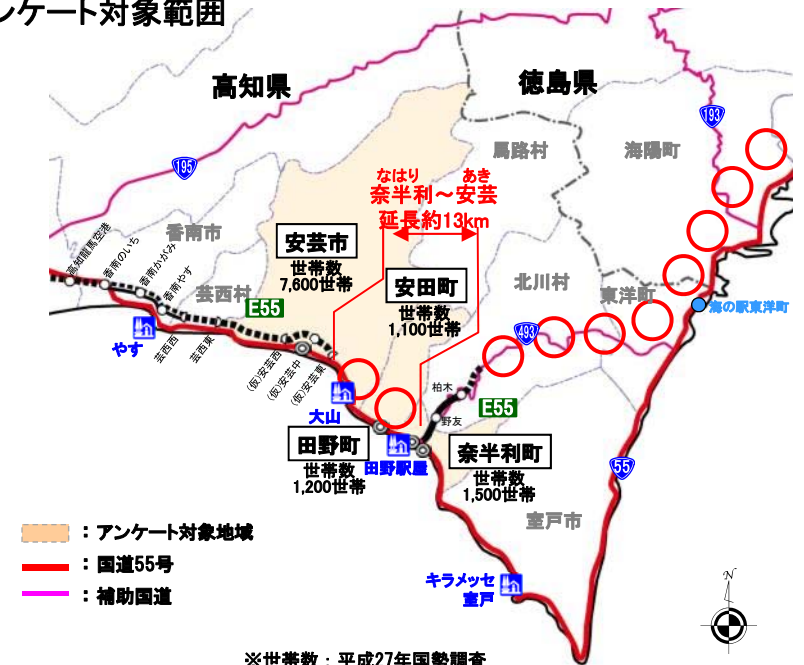
対象者・実施方法	
ヒアリング	<b>【関係市町村及び団体代表者】</b> 県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング 自治体: 高知県、奈半利町、田野町、安田町、安芸市及び徳島県、東洋町、北川村、室戸市、馬路村、芸西村、香南市、南国市、高知市、阿南市、美波町、牟岐町、海陽町 各団体等: トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係および市町村が地域代表として推薦いただける地域の活動団体の元の高校生(中芸高等学校、安芸高等学校、安芸桜ヶ丘高等学校) 転入支援団体(1ターン等)
	<b>【道路利用者】</b> 関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング 道の駅: 海の駅東洋町(東洋町)、道の駅キラメッセ室戸(室戸市)、道の駅田野駅屋(田野町)、道の駅大山(安芸市)、道の駅やす(香南市)
アンケート	<b>【地域住民】</b> 奈半利町、田野町、安田町、安芸市の住民へ郵送配布 約 11,400部
	奈半利町: 全世帯に配布 約 1,500部
	田野町: 全世帯に配布 約 1,200部
	安田町: 全世帯に配布 約 1,100部
	安芸市: 全世帯に配布 約 7,600部
アンケート	<b>【企業等】</b> 関係市町村の企業へ郵送配布
	関係市町村: 製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等 約 1,800部
アンケート	<b>【道路利用者】</b> 道の駅・観光施設等への常設、WEB(HP掲載)による実施
その他	<b>【地域住民】</b> 各市町の住民とグループミーティングによる意見交換会を実施 各市町の住民を対象にオープンハウス形式の説明会を開催

※アンケート回収方法は、郵便、WEB回答による。

■ヒアリング対象範囲



■アンケート対象範囲



※世帯数：平成27年国勢調査

## (3)アンケートにおける質問内容

**問1 あなたの住む地域にとって、望ましいルート帯素を考える際に、何が重要と思いますか？**

次のa~hから、重要と思うものを、**3つ選んでください。**

項目	
<b>a</b>	国道55号の代わりとして利用できること
<b>b</b>	災害発生時に、円滑な救命・救援活動のため、地域の防災拠点施設と連絡ができること
<b>c</b>	津波発生時に、避難路と連携し一時的に避難場所として活用できること
<b>d</b>	大きな病院・市場・観光地まで早くスムーズに移動できること
<b>e</b>	自然環境(動・植物)への影響が少ないこと
<b>f</b>	生活環境等(集落、大気質・騒音、史跡)への影響が少ないこと
<b>g</b>	早く開通すること
<b>h</b>	建設に要する費用が安いこと

上記a~h以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

**問2 インターチェンジを作るところを考える際に、配慮すべき事項についてどう思いますか？**

配慮すべき事項	そう思う	やや そう思う	どちらもと いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
<b>a</b> 地域の防災拠点施設と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
<b>b</b> 市街地(集落)と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
<b>c</b> 広い道路と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
<b>d</b> 観光地や流通施設と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5

上記a~d以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

**問3 その他、国道55号 奈半利~安芸間の道路整備等について、あなた自身が日頃から思う事など、ご意見やご要望をご自由にお書きください。**